

事業実績報告書

様式 2
(2019年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-62	講座名	「持続可能な消費と生産」を考える旅 バスで「めぐる」リユースの「輪」
記載日	2019/11/12	団体名・企業名	リユースプロジェクト「めぐる」

〈講座全体の概要〉(300字程度)

地産地消・地域経済の活性化とごみ減量を実現するため、「リユース」の現状と課題を改めて考察し、「持続可能な消費と生産」を考えるための講座を以下のとおり開催。

【1日目：座学】

3Rについての学習、名古屋市のリユースの取組、びんリユースの現状と課題、新しいリユースについての考察

【2日目：屋外】

名古屋市のごみ減量のスタート地点、地産地消・リユースに関わる施設の見学
(洗びん工場、環境学習施設、藤前干潟、酒造会社の見学)



※写真1の説明

10月26日の環境学習センターでの座学
(びんリユースの現状と課題)

※写真2の説明

11月9日の屋外見学（酒造会社見学）

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

参加者の多くの方は3Rやリユースについての知識を有しており、それぞれの考えを持っていたので、運営側が想定していたより質の高い議論を交わすことができました。同時に、洗びん工程や藤前干潟、酒蔵などの現場を見ることにより、特にびんのリユースの重要性を再認識していただくことができました。

また、近年大きな話題となっているプラスチックごみによる海洋汚染問題についても関心が高く、活発な質疑応答・意見交換が交わされ、リユースの意義や重要性について考える機会となり有意義であった。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

- 普段見学できない施設を見ることができてよかった。
- 知らないことがたくさんあり、現地学習は有意義でした。
- マイクロプラスチックについて、もっと勉強したいと思った。
- 知らない業界の話を聞くことができて勉強になった。